

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	障害の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	看護師 介護教員			
《授業科目における学習内容》						
<p>障害者児を取り巻く環境と法整備の状況や変遷等の理解。 多岐にわたる障害者児の心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 出席状況:20% 3. 授業(演習含む)態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉全書「障害の理解」(メヂカルフレンド社) その他必要に応じて講義内で紹介</p>						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書内容の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
<p>講義や福祉に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。 講義、演習において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	今後の授業の展開を理解し、障害について、現時点での自身の捉え方、考え方を持つことができる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、障害(者児)とは			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	障害種別について自分の考えを発言できることに加え、定義、内容を理解する。	教科書	障害種別の 把握	
		各コマに おける 授業予定	障害種別、定義について考え、共有する			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国内外における障害の概念や捉え方を理解し、変遷について説明できる。	教科書、 補装具支給事務 ガイドブック	補装具等を事前に調べる	
		各コマに おける 授業予定	障害の概念と理解			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	法整備の変遷、現行法令の概要が理解できる	教科書、 障害福祉サービス の利用について (冊子)	現行法令の把握	
		各コマに おける 授業予定	障害に関する法的理解と変遷			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	障害種別ごとに有効なコミュニケーション方法の概要が理解できる。	教科書、 障害福祉サービス の利用について (冊子)	障害種別ごとの特性把握	
		各コマに おける 授業予定	障害状態に応じた関わり方の概要			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害の特性や等級、状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:身体障害について①(基本的理解)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:身体障害について②(実態と支援)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害の特性や状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:知的障害について①(基本的理解)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:知的障害について②(実態と支援)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害の特性や状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:精神障害について①(基本的理解)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:精神障害について②(実態と支援)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の特性、障害福祉における難病について理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	難病及び高次脳機能障害について(基本的理解から実態と支援)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児が利用できるサービスや関連する支援の概要を説明できる。	教科書	障害福祉サービスの概要把握
		各コマにおける授業予定	障害者児支援と障害福祉サービスの概要		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	バリアフリー等の環境整備の重要性を理解し、有効性の説明ができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じた生活環境の概要		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	今までの授業の振り返りと試験		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	障害の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	通年	教室名	
担 当 教 員	牧原 新子	実務経験と その関連資格	看護師 介護教員			
《授業科目における学習内容》						
<p>障害者児を取り巻く環境と法整備の状況や変遷等の理解。 多岐にわたる障害者児の心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 出席状況:20% 3. 授業(演習含む)態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉全書「障害の理解」(メヂカルフレンド社) その他必要に応じて講義内で紹介						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書内容の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
講義や福祉に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。 講義、演習において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	福祉に関連する法令を理解し、法令ごとの対象、範囲等を説明できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	障害者児に関する法的概要と関連法令			
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	手帳制度について、その対象者や意義、交付、利用方法について説明できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	各種障害者手帳について(取得、利用等)			
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	補装具等の種類を理解し、対象者や正しい使用方法を説明できる。	教科書、 補装具支給事務 ガイドブック	補装具等を事前に調べる	
		各コマに おける 授業予定	補装具、日常生活用具について			
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	サービスの種別、制度の変遷を理解できる。	教科書、 障害福祉サービスの 利用について (冊子)	障害福祉サービス種別の 把握	
		各コマに おける 授業予定	障害福祉サービスの概要			
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	居宅系サービスの種別、それぞれの提供サービス内容を理解できる。	教科書、 障害福祉サービスの 利用について (冊子)		
		各コマに おける 授業予定	障害福祉サービスの体系(居宅系サービス)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設系サービスの種別、それぞれの提供サービス内容を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害福祉サービスの体系 (施設系サービス、地域生活支援事業)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害福祉に関連する各職種の業務を理解し、連携の意義等について具体的に説明できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	他(多)職種の理解と連携について		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	サービス利用や計画の意義を理解し、支援実施に向けた過程を説明できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害福祉サービス利用の具体的過程と支援 (計画から支援へ)		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児の地域生活における現状を理解し、課題等を考えることができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	地域生活を基本とした障害者児の生活について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者差別、歴史の変遷を理解し、自分の見解を持つことができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者児の権利擁護について		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者虐待の内容や防止、身体拘束廃止に関する取り組みについて理解する。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者虐待防止について		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	状態像に応じた有用なコミュニケーション方法を理解し、実践できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じたコミュニケーション		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児のみでなく、その家族や生活、心理状態を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者児とその家族の理解と関わり、支援について		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児の支援体系、地域生活等について自分の言葉で必要な説明ができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	総括講義		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	今までの授業の振り返りと試験対策		